

特集 2020年度 大学入試結果分析③ (総括および2021年度入試の注意点)

2020年度入試で大学入学センター試験（以下、センター試験）は最後となり、今後は大学入学共通テスト（以下、共通テスト）が導入される。最後のセンター試験の志願者数は557,699人で、前年度より19,131人減少した。国公立大学の志願者数も439,565人で、前年度より30,271人減少した。一方、私立大学の志願者数は、全体は集計中だが、首都圏主要60大学でみても減少している。18歳人口減少の影響もあるが、安全志向で堅実な出願をする傾向が表れたといえよう。

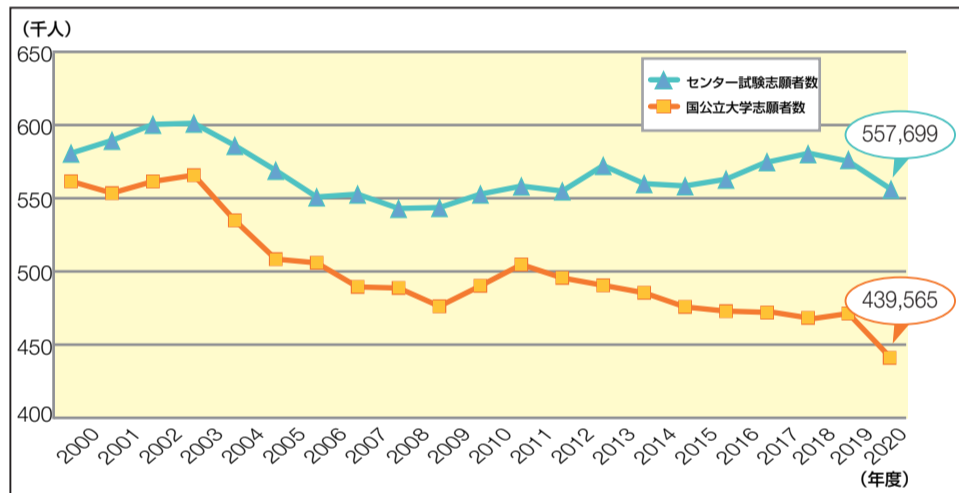
今回の特集では、現時点で明らかになっているデータから、2020年度大学入試結果を分析する。2021年度入試に向けた準備の参考にしてもらいたい。

1 2020年度入試結果分析

(1) センター試験～平均点低下～

まず2020年度センター試験の結果を見ていこう。2021年度入試から導入される共通テストを意識した「思考力・判断力」を問う新傾向の出題もみられ、センター試験の結果を振り返ることは、共通テスト対策を考える上でも重要である。

グラフ1 志願者数推移（センター試験、国公立大学）



出典：文部科学省および大学入試センターの公表値より作成

主要科目の平均点を見ていこう。「国語」（200点満点）は、前年度アップしたが、今年度は2.22点ダウンとなった。

地理歴史（100点満点）では、「世界史B」は前年度より2.39点ダウンし、2年連続してダウンとなった。「日本史A」は6.01点ダウン、「地理A」は2.60点ダウンとそれぞれダウンし、「世界史A」は3.59点アップ、「日本史B」は1.91点アップ、「地理B」は4.32点アップとそれぞれアップした。

公民（100点満点）では、「政治・経済」は2.49点ダウンしたが、その他の科目ではアップとなった。「現代社会」は0.54点アップ、「倫理」は3.12点アップ、「倫理、政治・経済」では、2.29点アップした。

数学①（100点満点）では、「数学I」は0.78点ダウン、「数学I・数学A」が7.80点ダウンとなった。「数学I・数学A」では目新しい出題があったためであろう。数学②（100点満点）では、「数学II」は1.62点ダウン、「数学II・数学B」は4.18点ダウン、「簿記・会計」は3.94点ダウンとそれぞれダウンしたが、「情報関係基礎」は18.45点アップとなった。

理科①（50点満点）では、「化学基礎」が3.02点ダウン、「地学基礎」が2.59点ダウンし、「物理基礎」は2.71点アップ、「生物基礎」は1.11点アップした。「地学基礎」は前年度に続くダウンである。

理科②（100点満点）では、「生物」が5.33点ダウン、「地学」が6.83点ダウンとなった。「物理」は3.74点アップ、「化学」が0.12点アップした。

外国語（200点満点）では、「英語（筆記）」が6.99点ダウン、「英語（リスニング）」（50点満点）が2.64点ダウンした。

受験者数の多い国語、数学、英語での平均点ダウンが目立ち、国公立大学出願者数減や私立大学の安全志向の要因にもなった。

表1 センター試験（本試験）の平均点の推移

教科・科目(満点)		2018年度	2019年度	2020年度	2019年度と2018年度の点差	2020年度と2019年度の点差
国語(200点)	国語	104.68	121.55	119.33	16.87	-2.22
	世界史A	39.58	47.57	51.16	7.99	3.59
地理歴史(100点)	世界史B	67.97	65.36	62.97	-2.61	-2.39
	日本史A	46.19	50.60	44.59	4.41	-6.01
	日本史B	62.19	63.54	65.45	1.35	1.91
	地理A	50.03	57.11	54.51	7.08	-2.60
	地理B	67.99	62.03	66.35	-5.96	4.32
	現代社会	58.22	56.76	57.30	-1.46	0.54
公民(100点)	倫理	67.78	62.25	65.37	-5.53	3.12
	政治・経済	56.39	56.24	53.75	-0.15	-2.49
	倫理、政治・経済	73.08	64.22	66.51	-8.86	2.29
数学①(100点)	数学I	33.82	36.71	35.93	2.89	-0.78
	数学I・数学A	61.91	59.68	51.88	-2.23	-7.80
数学②(100点)	数学II	25.97	30.00	28.38	4.03	-1.62
	数学II・数学B	51.07	53.21	49.03	2.14	-4.18
	簿記・会計	59.15	58.92	54.98	-0.23	-3.94
	情報関係基礎	59.35	49.89	68.34	-9.46	18.45
理科①(50点)	物理基礎	31.32	30.58	33.29	-0.74	2.71
	化学基礎	30.42	31.22	28.20	0.80	-3.02
	生物基礎	35.62	30.99	32.10	-4.63	1.11
理科②(100点)	地学基礎	34.13	29.62	27.03	-4.51	-2.59
	物理	62.42	56.94	60.68	-5.48	3.74
	化学	60.57	54.67	54.79	-5.90	0.12
外国語(200点)	生物	61.36	62.89	57.56	1.53	-5.33
	地学	48.58	46.34	39.51	-2.24	-6.83
	英語	123.75	123.30	116.31	-0.45	-6.99
	ドイツ語	136.83	152.21	147.90	15.38	-4.31
	フランス語	134.83	138.64	138.41	3.81	-0.23
リスニング(50点)	中国語	154.90	150.89	167.41	-4.01	16.52
	韓国語	132.55	126.25	147.50	-6.30	21.25
	英語	22.67	31.42	28.78	8.75	-2.64

出典：大学入試センターの公表値より作成

(2) 国公立大学一般入試

2020年度入試の国公立大学の志願者数と志願倍率を表2にまとめた。国公立大学全体の志願者数は439,565人となり、前年度よりも30,271人減少し、前年比93.6%となった。国立大学の志願者数は22,961人減少（同93.0%）、公立大学の志願者数は7,310人減少（同94.8%）と、それぞれ減少した。

日程別にみると、国立大学の前期日程では前年比で94.0%、後期日程では同91.7%である。公立大学の前期日程は同94.2%、後期日程は同92.5%、中期日程は同99.2%となった。いずれの日程でも減少しており、国公立大学離れが顕著となった。

表2 国公立大学の志願者数推移（日程別）

区分	日程	志願者数（一般入試）				志願倍率			
		2018年度	2019年度	2020年度	19/18比	20/19比	2018年度	2019年度	2020年度
国立	前期	195,255	194,525	182,772	99.6%	94.0%	3.0倍	3.0倍	2.9倍
	後期	134,950	135,628	124,420	100.5%	91.7%	9.2倍	9.5倍	8.8倍
	計	330,205	330,153	307,192	100.0%	93.0%	4.2倍	4.2倍	3.9倍
公立	前期	62,607	64,010	60,280	102.2%	94.2%	4.0倍	4.0倍	3.7倍
	中期	29,604	31,687	31,426	107.0%	99.2%	13.5倍	13.7倍	13.3倍
	後期	43,292	43,986	40,667	101.6%	92.5%	11.7倍	12.1倍	11.4倍
	計	135,503	139,683	132,373	103.1%	94.8%	6.3倍	6.3倍	6.0倍
国公立計		465,708	469,836	439,565	100.9%	93.6%	4.6倍	4.7倍	4.4倍

※ 国際教養大学、新潟県立大学は含まない。

出典：文部科学省「国公立大学入学者選抜確定志願状況」（平成30～令和2年度）の公表値より作成

定である。センター試験からの配点・試験時間の主な変更点は次の通りである。

- ・英語リーディングの配点：200点→100点
- ・英語リスニングの配点：50点→100点
- ・「数学Ⅰ・数学A」「数学Ⅰ」の試験時間：60分→70分

なお、出題内容については、思考力・判断力を問われる内容となり、難化すると予測される。詳細については、順次紹介する予定である。

表 10 大学入学共通テスト出題教科・科目の出題方法等

教科	出題科目	出題方法等	科目選択の方法等	試験時間(配点)
国語	『国語』	『国語総合』の内容を出題範囲とし、近代以降の文章、古典(古文、漢文)を出題する。		解答方法等：マーク式 80分(200点)
地理歴史	『世界史A』『世界史B』『日本史A』『日本史B』『地理A』『地理B』	『倫理、政治・経済』は、『倫理』と『政治・経済』を総合した出題範囲とする。	左記出題科目の10科目のうちから最大2科目を選択し、解答する。ただし、同一名称を含む科目の組合せで2科目を選択することはできない。なお、受験する科目数は出願時に申し出ること。	解答方法等：マーク式 1科目選択 60分(100点) 2科目選択 130分(うち解答時間120分) (200点)
公民	『現代社会』『倫理』『政治・経済』『倫理、政治・経済』			
数学	グループ① 『数学Ⅰ』『数学Ⅰ』『数学Ⅰ・数学A』	『数学Ⅰ・数学A』は、『数学Ⅰ』と『数学A』を総合した出題範囲とする。ただし、次に記す『数学A』の3項目の内容のうち、2項目以上を学習した者に対応した出題とし、問題を選択解答させる。〔場合の数と確率、整数の性質、図形の性質〕	左記出題科目の2科目のうちから1科目を選択し、解答する。	解答方法等：マーク式 70分(100点)
	グループ② 『数学Ⅱ』『数学Ⅱ・数学B』『簿記・会計』『情報関係基礎』	『数学Ⅱ・数学B』は、『数学Ⅱ』と『数学B』を総合した出題範囲とする。ただし、次に記す『数学B』の3項目の内容のうち、2項目以上を学習した者に対応した出題とし、問題を選択解答させる。〔数列、ベクトル、確率分布と統計的な推測』『簿記・会計』は、『簿記』及び『財務会計Ⅰ』を総合した出題範囲とし、『財務会計Ⅰ』については、株式会社の会計の基礎的事項を含め、財務会計の基礎を出題範囲とする。『情報関係基礎』は、専門教育を主とする農業、工業、商業、水産、家庭、看護、情報及び福祉の8教科に設定されている情報に関する基礎的科目を出題範囲とする。	左記出題科目の4科目のうちから1科目を選択し、解答する。ただし、科目選択に当たり、『簿記・会計』及び『情報関係基礎』の問題冊子の配付を希望する場合は、出願時に申し出ること。	解答方法等：マーク式 60分(100点)
理科	グループ① 『物理基礎』『化学基礎』『生物基礎』『地学基礎』		左記出題科目の8科目のうちから下記のいずれかの選択方法により科目を選択し、解答する。	解答方法等：マーク式 【理科①】 2科目選択 60分(100点)
	グループ② 『物理』『化学』『生物』『地学』		A理科①から2科目 B理科②から1科目 C理科①から2科目 及び理科②から1科目 D理科②から2科目 なお、受験する科目の選択方法は出願時に申し出ること。	解答方法等：マーク式 【理科②】 1科目選択60分(100点) 2科目選択130分(うち解答時間120分)(200点)
外国語	『英語』『ドイツ語』『フランス語』『中国語』『韓国語』	『英語』は、『コミュニケーション英語Ⅰ』に加えて『コミュニケーション英語Ⅱ』及び『英語表現Ⅰ』を出題範囲とし、『リーディング』と『リスニング』を出題する。なお、『リスニング』の問題音声の流れる回数は、1回読みのもとと2回読みのもとで構成する。	左記出題科目の5科目のうちから1科目を選択し、解答する。ただし、科目選択に当たり、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』及び『韓国語』の問題冊子の配付を希望する場合は、出願時に申し出ること。	解答方法等：マーク式 【英語】 80分(100点) 【リーディング】 80分(100点) 【リスニング】 60分(うち解答時間30分)(100点) 【ドイツ語』『フランス語』『中国語』『韓国語】 【筆記】 80分(200点)

備考1「」で記載されている科目は、高等学校学習指導要領上設定されている科目を表し、『』はそれ以外の科目を表す。2 地理歴史及び公民の「科目選択の方法等」欄中の「同一名称を含む科目の組合せ」とは、『世界史A』と『世界史B』、『日本史A』と『日本史B』、『地理A』と『地理B』、『倫理』と『倫理、政治・経済』及び『政治・経済』と『倫理、政治・経済』の組合せをいう。3 地理歴史及び公民並びに理科②の試験時間において2科目を選択する場合は、解答順に第1解答科目及び第2解答科目に区分し各60分間で解答を行うが、第1解答科目及び第2解答科目の間に答案回収等を行うために必要な時間を加えた時間を試験時間とする。4 理科①については、1科目のみの受験は認めない。5 外国語において『英語』を選択する受験者は、原則として、リーディングとリスニングの双方を解答する。6 リスニングは、音声問題を用い30分間で解答を行うが、解答開始前に受験者に配付したICプレーヤーの作動確認・音量調節を受験者本人が行うために必要な時間を加えた時間を試験時間とする。

出典：大学入試センターホームページ

(2)入試制度改革の相次ぐ変更の影響

2021年度入試から始まる入試制度改革は、昨年末まで迷走を続けた。文部科学省から、昨年11月1日に大学入試英語成績提供システム導入の延期、同12月17日には共通テストの記述式の導入見送りが公表され、大学は対応に追われること

となった。昨年末から今年1月にかけて、各大学から入試変更点が相次いで発表された。

表11、表12に、主要大学の主な変更点を挙げた。紙面の都合上、主に入試方式に関する変更点しか記載していないが、入試科目や配点など数多くの変更点があるので、志望する大学の情報はホームページなどで必ず確認してもらいたい。

(3)2021年度国立大学入試の変更点

表11は、現在までに判明した主要国立大学の2021年度入試の主な変更点をまとめたものである。

北海道大では、理学部地球惑星科学科・歯学部・水産学部の総合型選抜(旧AO入試)に共通テストを導入する。一橋大では、合否ラインに志願者が同点で並んだ場合、調査書が点数化され合否判定に用いられる。九州大芸術工学部芸術工学科インダストリアルデザインコースでは学校推薦型選抜(旧推薦入試)が導入される。

国公立大学では、入試の多様化のため、一般選抜の定員の一部を総合型選抜や学校推薦型選抜に振り分ける傾向が続くと同時に、試験内容の変更も多い。また、共通テストでは、英語の配点がリーディング100点、リスニング100点とされたが、国公立大学の傾斜配点では独自の配点比率に変更されていることが多いので、各大学のホームページ等で確認しておこう。

また、今後変更点が発表される場合もあるので、各大学の発表には十分注意してもらいたい。

表 11 主要国立大学の主な入試変更点(2021年度)

大学名	学部学科等	試験方式等	変更内容	
北海道	理 地球惑星科学	総合型	【選抜方法】 共通テスト導入 【入試科目】 課題論文、面接→総合問題、面接に変更	
	医 医	総合型	【入試科目】 試験内容変更 1次試験：調査書、個人評価書、自己推薦書、諸活動の記録→調査書、コンピテンシー評価に変更 2次試験：課題論文、面接、センター試験の成績→課題論文、面接、コンピテンシー評価、共通テストの成績に変更	
	歯	総合型	【選抜方法】 共通テスト導入	
		前期	【募集人員】 30名から38名に変更	
		前期【個別】	【入試科目】 面接を追加	
	後期	【入試方式】 廃止		
水産	総合型	【出願要件】 「高等学校等で数Ⅲを履修している者」を追加 【選抜方法】 共通テスト導入 【入試科目】 課題論文を廃止		
東北	文・教育・法・経済(文系)	前期【個別】	【選抜方法】 国語：試験時間120分→150分	
	法 法	前期・AO(総合型)	【募集人員】 前期：118名から112名に変更 AOⅡ期：20名から24名に変更 AOⅢ期：22名から24名に変更	
	教育	AO(総合型)Ⅱ期	【入試方式】 新規実施(14名)	
		前期・AO(総合型)	【募集人員】 前期：60名から49名に変更 AOⅢ期：10名から7名に変更	
	理	後期	【選抜方法】 第1段階選抜基準変更：約20倍(予定人数：1160名)→約10倍(予定人数：580名)	
		後期【個別】	【入試科目】 面接を追加	
	医	保健／放射線	AO(総合型)Ⅱ期	【入試方式】 新規実施(4名)※共通テストを課さない選抜
			前期・AO(総合型)	【募集人員】 前期：29名から25名に変更
		保健／検査技術	AO(総合型)Ⅱ期	【入試方式】 新規実施(4名)※共通テストを課さない選抜
			前期・AO(総合型)	【募集人員】 前期：29名から25名に変更
農	前期・AO(総合型)	【募集人員】 前期：112名から105名に変更 AOⅡ期：20名から23名に変更 AOⅢ期：18名から22名に変更		
東京	全	前期【共通テスト】	【入試科目】 英語にリスニング追加	
東京工業	全	前期【共通テスト】	【選抜方法】 2段階選抜(4倍)を新規実施	
	生命理工 生命理工	前期・総合型	【募集人員】 前期：105名→135名、総合型：10名→15名に変更	
		後期	【入試方式】 廃止	
一橋	全		【出願方法】 インターネット出願導入 【選抜方法】 調査書の取り扱い変更 合否ラインに志願者が同点で並んだ場合、調査書を点数化し総合点の高い者を優先的に合格とする	
名古屋	医 医	後期【個別】	【選抜方法】 2段階選抜を廃止	
		前期【個別】	【入試科目】 国語(国語総合、現代文B、古典B150点満点)→国語(国語総合、現代文B※古文・漢文を除く150点満点)に変更	
	保健	前期【個別】	【入試科目】 国語(現代文150点満点)を追加	
京都	理	特色	【選抜方法】 能力測定考査で選択可能に変更(数学or生物)	
	医 医	特色	【推薦要件】 共通テストで指定した教科・科目を受験することを追加(条件該当者を除く) また、IELTSを削除。TOEFL iBTのみ対象 【入試科目】 第2次選考の試験科目を小論文→口頭試問に変更	
	農 食品生物科学	特色	【入試科目】 共通テストの外国語(英語)を除外 第2次選考の口頭試問の内容に英語論文読解力を追加	

表 11 主要国立大学の主な入試変更点 (2021 年度) の続き

大学名	学部学科等	試験方式等	変更内容	
大阪	人間科学	人間科学	前期 【選抜方法】 2段階選抜を新規実施 (約2.4倍)	
	医	医	前期 【選抜方法】 面接の基準変更。複数の面接官による評価を参考にし、場合によっては複数回行う	
	薬	薬	前期 【選抜方法】 第1段階選抜基準変更: 約4倍→約2.5倍 (予定人数163名) 前期【個別】 【入試科目】 小論文 (50点満点)、面接を追加	
神戸	全	総合型	【提出書類】 「志」 特別入試で学業等評価書を廃止	
	国際人間科学	環境共生	総合型 【入試方式】 研究実績受験方式を廃止 【募集人員】 「志」 特別入試: 2名から7名に変更	
	理	生物・惑星	総合型 【提出書類】 総合型選抜で学業等評価書を廃止	
	工	応用化学	前期・後期・総合型	【募集人員】 前期: 78名から85名に変更 後期: 26名から18名に変更 【志】 特別入試: 5名から3名に変更
		情報知能工	前期・後期	【募集人員】 前期: 85名から90名に変更 後期: 20名から15名に変更
	海事科学		●学部改組 海洋政策科学部 (仮称) に学部改組	
	医	医	前期	【選抜方法】 第1段階選抜基準を変更: センター試験が900点満点中650点以上の者→約3倍 (予定人数276名) に変更
		保健/作業療法	後期	【入試方式】 廃止 学校推薦型 【入試方式】 学校推薦型選抜を新規実施 (3名)
	農	資源生命科学/応用植物学	前期・総合型	【募集人員】 前期: 22名から21名に変更 【志】 特別入試: 1名から2名に変更
			総合型【個別】	【入試科目】 課題提示、プレゼンテーション、面接→グループディスカッション、面接、口頭試問
九州	文	人文	後期【個別】 【入試科目】 現行の小論文を小論文Ⅰとし、小論文Ⅱを追加	
	法		後期【個別】 【入試科目】 小論文を廃止、講義に関する理解度確認試験を行う	
	経済	経済・経営	前期・後期・総合型	【入試方式】 総合型選抜を新規実施 (22名) 【募集人員】 前期: 110名から93名に変更。後期: 31名から26名に変更
		経済工	後期	【出願要件】 志望理由書を追加
	共創		前期・後期・学校推薦型 【共通テストの英語外部試験利用方法】 得点換算からみなし満点に変更 対象試験: ケンブリッジ英検、TEAP CBTを追加	
	工			●学科改組 エネルギー科学、建築、電気情報工、物質科学工、地球環境工、機械航空工→電気情報工、材料工、応用化学、化学工、融合基礎工、機械工、航空宇宙工、量子物理工、船舶海洋工、地球資源システム工、土木工、建築
			前期・後期	【選抜方法】 学科別募集から学科群別募集へ変更
	航空宇宙工を除く		総合型	【入試方式】 総合型選抜 (共通テストを課す) を新規実施
		インダストリアルデザイン	前期	【募集人員】 25名から20名に変更
	芸術工		学校推薦型	【入試方式】 学校推薦型選抜を新規実施 (5名)
未来構想デザイン		前期	【募集人員】 15名から10名に変更	
		学校推薦型	【入試方式】 学校推薦型選抜を新規実施 (5名)	
医	保健/看護	総合型 (AOⅡ期)	【選抜方法】 第2次選抜の実技の内容: 実技とプレゼンテーション、討論、レポート→表現とプレゼンテーション、対話、レポート	
		前期・総合型	【募集人員】 前期: 59名から58名に変更 総合型: 9名から10名に変更	
農	生物資源環境	総合型 (AO)	【選抜方法】 調査書または調査書に変わる書類70点満点、志望理由書を30点、各評価を合わせて3段階 (ABC) で総合評価→調査書または調査書に変わる書類75点満点、志望理由書を25点、各評価を合わせて3段階 (ABC) で総合評価	
		前期・後期・総合型	【募集人員】 前期: 172名から170名に変更 後期: 24名から22名に変更 総合型: 20名から24名に変更	

※ 上記変更点およびその他の変更点については、各大学のホームページにて必ず確認のこと
出典: 各大学ホームページ

(4)2021年度私立大学入試の変更点

表12に主要私立大学の2021年度入試の主な変更点をまとめた。

特徴的な変更点は、「主体性」「多様性」「協働性」の記述と共通テストの活用である。

早稲田大、慶應義塾大、明治大などで、2021年度入試から、出願時に「主体性」「多様性」「協働性」に関する記入を要件とした。ただし、点数化はされない。

共通テストについては、従来のセンター試験利用を、共通テスト利用に置き換える変更が多いが、早稲田大政治経済学部の一般選抜では、共通テストと学部独自試験の合計 (200点満点) により選抜を行うこととした。センター試験を利用した入試を行ってこなかった上智大は、共通テストを利用した入試を新たに実施する。立教大では、文学部を除き独自の英語試験を廃止、「英語」は英語外部試験を全面的に導入、共通テストの「英語」も利用可能とした。

また、英語外部試験を利用する入試では、スコアの変更など、細かな変更点も多いので注意しよう。

表 12 主要私立大学の主な入試変更点 (2021 年度)

大学名	学部学科等	試験方式等	変更内容
早稲田	全		【出願要件】 ・Web出願時に「主体性」「多様性」「協働性」に関する経験を記入 ・得点化はしない ・併願学部が複数あったとしても、1回記入すればすべての学部適用する ・高校入学に相当する年齢からこれまでに、学校内外にて「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を持って活動・経験してきたと受験生本人が考えていることについて、100文字以上500文字以内で記入
	政治経済	一般	【入試方式】 英語外部試験の取りやめ (共通テスト100点+学部独自試験100点で実施) これにより 【試験時間】 学部独自試験の時間は120分
		グローバル入学試験	【試験の名称変更】 グローバル (海外就学経験者) 入学試験に変更 【募集人員】 40名 【利用できる英語外部検定試験】 TOEIC (Listening & Reading) を除外 (TOEFL iBT/PBTあるいはIELTS Academicのみ)
	文・文化構想	共通テスト利用	【入試方式】 「センター試験利用入試 (センターのみ方式)」 廃止
		一般	【入試科目】 ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語を選択する場合、共通テストの当該科目を利用すること (当該科目の配点を外国語の配点75点に調整して利用)
		共通テスト利用	【入試科目】 ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語を選択する場合、共通テストの当該科目を利用すること (当該科目の配点を外国語の配点75点に調整して利用)
	商	共通テスト利用	【入試方式】 「センター試験利用入試 (センターのみ方式)」 廃止
		一般	【入試方式】 ・英語外部検定試験を利用する方式 (英語4技能テスト利用型) を新設 ・「地歴・公民型」と「数学型」の2つの方式を新設 【募集人員】 「数学型」については、「地歴・公民型」と合わせた人数の約3割とする
	社会科学	一般	【入試科目】 選択科目から政治・経済を削除
		グローバル入試	【出願期間】 8月上旬から9月に降に変更。また、合格者発表日を9月下旬から12月に変更 【入試方式】 2段階に変更する。第1次選考では書類審査、第2次選考では筆記試験を行う 当学部のグローバル入試と全国自己推薦入試を同一年度中に併願することは不可
共通テスト利用		【配点】 外国語: 200点を125点に換算する (英語: リーディング100点、リスニング100点を125点に換算) 国語: 200点を100点に換算する 【選択科目において複数科目を受験している場合の得点利用方法】 指定科目の範囲内で2科目以上受験している場合は、最高得点の科目の成績を大学側で自動的に抽出し、合否判定に利用する。ただし、必須科目において採点対象とした科目は抽出対象から除外	
人間科学	公募制学校推薦入試	【出願資格】 「全体の評定平均値」が3.9以上の者で、「理科」及び「国語」のそれぞれ3科目以上を履修し、「理科」及び「国語」で履修したすべての科目を合わせた評定平均値が4.3以上の者	
	一般	【入試科目】 文系方式: 選択科目から政治・経済を削除	
スポーツ科学	一般	【入試方式】 共通テスト+小論文方式 ※ 「小論文の得点」が基準点に満たない場合は不合格とする	
	共通テスト利用	【入試方式】 共通テスト+競技歴方式 (スポーツ競技歴調査書による書類審査)	
国際教養	共通テスト利用	【入試方式】 共通テストのみ	
	共通テスト利用	【入試方式】 「センター試験利用入試」 廃止	
	一般	【入試方式】 共通テスト+英語外部検定試験 (加点方式) +学部独自試験 (科目: 英語) 共通テストは、「国語」 (200点満点) と選択科目 (1科目、100点満点) を学部の定める配点 (50点満点) にそれぞれ換算する 【募集人員】 150名から175名に変更	
慶應義塾	AO入試 (4月)	【募集人員】 国内: 125名から100名に変更	
	AO入試 (9月)	【募集人員】 125名から150名に変更	
	全	【出願要件】 「主体性」「多様性」「協働性」についてどのように考え、心掛けてきたかについて、100文字以上、500文字以内で入力を求める	
総合政策、環境情報	AO	【入学時期選択の変更】 出願時に4月 (春学期) 入学と9月 (秋学期) 入学を選択することが可能 【募集人員】 両学部とも100名から150名に変更	
	一般	【募集人員】 両学部とも275名から225名に変更	

表 12 主要私立大学の主な入試変更点 (2021 年度) の続き

大学名	学部学科等	試験方式等	変更内容		
上智	全	一般	【入試方式】TEAPスコア利用型(全学統一日程入試)、学部学科試験・共通テスト併用型、共通テスト利用型の3方式で実施 ※国際教養学部、理工学部英語コース、SPSFを除くすべての学部・学科で全方式を実施 【出願要件】高校生活において主体的に取り組んだ活動の成果や、留学・海外経験、取得した資格・検定などの学修データをWeb出願時に提出を求める。ただし、得点化はしない		
		一般 [TEAP]	【英語外部検定試験の利用方法】必須提出。学部独自の英語試験はなく、代替としてTEAPまたはTEAP CBTのスコアを英語の得点として利用		
		一般 [共通テスト併用]	【英語、ドイツ語、フランス語の外部検定試験の利用方法】任意提出。任意で提出したCEFRレベルA2以上の外国語外部検定試験結果は、CEFRレベルごとに得点化し、大学入学共通テストの外国語の得点に加点する		
		一般 [共通テスト利用]	【英語、ドイツ語、フランス語の外部検定試験の利用方法】提出不要。CEFRレベルB2以上の外国語外部検定試験結果を提出した場合、大学入学共通テストの外国語において、みなし得点として利用可能とする		
東京理科	経営	一般 [A方式 (共通テスト利用)]	【入試科目】数学の指定科目を「数学Ⅰ・A、数学Ⅱ・B」に変更し、必須とする ※必須科目「英、数、国」選択科目が「理、地歴公民」		
		一般 [B方式]	【入試科目】必須科目に数学が追加：英語、数学、国語		
	国際デザイン経営	●学科新設	国際デザイン経営学科 募集人員120名		
先進工		●学科名称変更	基礎工学部(電子応用工学科、材料工学科、生物工学科) → 先進工学部(電子システム工学科、マテリアル創成工学科、生命システム工学科)		
		●キャンパス変更	1年次：長万部キャンパス(北海道山越郡) 2～4年次：葛飾キャンパス(東京都葛飾区) から、4年間：葛飾キャンパス		
明治	全		【出願要件】Web出願時に高等学校入学に相当する年齢から出願時まで、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を持って活動・経験してきたと受験生本人が考えている内容について、500文字以内で入力。得点化はしない		
		文・演劇学専攻	一般 [学部別]	【募集人員】28名から29名に変更	
			一般 [共通テスト5科目方式]	【募集人員】2名から1名に変更	
		文・フランス文学専攻	一般 [全学部]	【募集人員】7名から8名に変更	
			一般 [共通テスト5科目方式]	【募集人員】2名から1名に変更	
		史学地理・西洋史専攻	一般 [学部別]	【募集人員】31名から32名に変更	
			一般 [共通テスト5科目方式]	【募集人員】2名から1名に変更	
		史学地理・地理学専攻	一般 [学部別]	【募集人員】26名から27名に変更	
			一般 [共通テスト5科目方式]	【募集人員】2名から1名に変更	
		史学地理・考古学専攻	一般 [共通テスト3科目方式]	【募集人員】3名から4名に変更	
			一般 [共通テスト5科目方式]	【募集人員】2名から1名に変更	
		心理社会・現代社会学専攻	一般 [共通テスト3科目方式]	【募集人員】4名から3名に変更	
			一般 [学部別]	【募集人員】100名から90名に変更	
		農	農芸化学	一般 [全学部3科目方式]	【募集人員】10名から15名に変更
				共通テスト利用	【募集人員】10名から12名に変更
				総合型選抜 [自己推薦特別]	【募集人員】8名から10名に変更
				情報コミュニケーション	一般 [学部別]
経営	一般 [全学部]	【入試方式】英語4技能3科目方式を新規実施。 【募集人員】3科目方式を27名、英語4技能3科目方式を3名。※2方式間で併願可			
総合数理	一般 [全学部]	【入試科目】外国語の選択科目からドイツ語、フランス語を廃止			
	共通テスト利用	【入試科目】外国語の選択科目からドイツ語、フランス語を廃止			
商	共通テスト利用	【入試方式】前期日程の3科目方式を4科目式へ変更。4科目方式を5科目式へ変更 【入試科目】必須科目に「数学」を追加			
政治経済	政治	共通テスト利用 [3科目方式]	【募集人員】10名から8名に変更		
	経済	共通テスト利用 [3科目方式]	【募集人員】20名から15名に変更		
	地域行政	共通テスト利用 [7科目方式]	【募集人員】15名から12名に変更		

表 12 主要私立大学の主な入試変更点 (2021 年度) の続き

大学名	学部学科等	試験方式等	変更内容	
明治	理工	情報科	共通テスト利用 [3教科方式] 【募集人員】10名から7名に変更 総合型 [AO入試] 【入試方式】募集停止 共通テスト利用 [4教科方式] 【入試方式】新規実施	
		国際日本	共通テスト利用 【入試方式】4科目方式から5科目方式へ変更	
青山学院	文	英米文	共通テスト併用 [個別A方式]	【募集人員】共通テスト併用 [個別A方式]: 70名、一般 [B方式]: 40名、一般 [C方式]: 40名、一般 [全学部]: 5名、共通テスト利用: 15名 【入試方式】一般方式から共通テスト併用方式
			一般 [個別B方式]	【入試科目】外国語+総合問題 ※総合問題: 英語による記述式問題および小論文
		共通テスト利用	【配点】国語を200点から100点に換算	
		史	共通テスト併用 [個別]	【募集人員】一般 [個別]: 65名から55名に変更 【入試方式】一般方式から共通テスト併用方式に変更
	日本語	共通テスト併用 [個別A方式・B方式]	【入試方式】一般方式から共通テスト併用方式に変更	
		フランス文	共通テスト併用 [個別A方式]	【募集人員】50名から45名に変更 【入試方式】一般方式から共通テスト併用方式に変更
	比較芸術	共通テスト併用 [個別B方式]	【入試方式】一般方式から共通テスト併用方式に変更	
		共通テスト利用	【募集人員】50名から10名に変更	
	総合文化政策	総合文化政策	共通テスト併用 [個別A方式]	【出願要件】英語外部試験を追加 対象試験: 英検、GTEC、IELTS、TEAP、TOEFL iBT、TOEIC LR&TOEIC SW 【入試方式】一般方式から共通テスト併用方式に変更
			共通テスト併用 [個別B方式]	【出願要件】英語外部試験を利用廃止 【入試方式】一般方式から共通テスト併用方式に変更
共通テスト利用		【入試科目】公民の選択から倫理、政治・経済が削除		
法		法	共通テスト併用 [個別A方式]	【入試方式】一般方式から共通テスト併用方式に変更 【募集人員】150名から100名に変更
		共通テスト併用 [個別B方式]	【入試方式】一般方式から共通テスト併用方式に変更 【募集人員】50名から80名に変更	
共通テスト利用		【入試科目】地理歴史の選択に世界史A、日本史A、地理Aを追加。数学の選択に数Ⅰ、数Ⅱを追加		
国際政治経済		国際経済	共通テスト併用 [個別]	【入試方式】一般方式から共通テスト併用方式に変更
		国際政治	共通テスト併用 [個別A方式]	【入試方式】一般方式から共通テスト併用方式に変更
			共通テスト併用 [個別B方式]	【入試方式】一般方式から共通テスト併用方式に変更 【英語外部試験】対象からTOEIC LRを除外
		国際コミュニケーション	共通テスト併用 [個別A方式]	【入試方式】一般方式から共通テスト併用方式に変更 【募集人員】32名から27名に変更
共通テスト併用 [個別B方式]	【入試方式】一般方式から共通テスト併用方式に変更 【英語外部試験】対象からTOEIC LRを除外 【募集人員】15名から20名に変更			
経済	経済	一般 [個別A方式]	【入試科目】国、数が除外 歴史、公民が選択から必須に変更	
		一般 [個別B方式]	【募集人員】230名から180名に変更 【募集人員】50名から100名に変更	
	現代経済デザイン	一般 [個別A方式]	【募集人員】60名から50名に変更	
		一般 [個別B方式]	【募集人員】15名から25名に変更	
共通テスト利用	【募集人員】5名から10名に変更			
経営	共通テスト併用 [個別A方式]	共通テスト併用 [個別A方式]	【入試方式】一般方式から共通テスト併用方式に変更	
		共通テスト併用 [個別B方式]	【入試方式】一般方式から共通テスト併用方式に変更	
	共通テスト利用	【配点】国語: 200点を100点に換算 英語: 200点を100点に換算		
	経営	共通テスト併用 [個別A方式]	【募集人員】200名から160名に変更	
		共通テスト併用 [個別B方式]	【募集人員】15名から40名に変更	
	共通テスト利用	【募集人員】7名から10名に変更		

表 12 主要私立大学の主な入試変更点 (2021 年度) の続き

大学名	学部学科等	試験方式等	変更内容	
青山学院	経営	共通テスト併用 [個別A方式]	【募集人員】 100名から80名に変更	
		共通テスト併用 [個別B方式]	【募集人員】 15名から20名に変更	
		共通テスト利用	【募集人員】 3名から5名に変更	
	社会情報	社会情報	共通テスト併用 [個別A方式]	【入試方式】 一般方式から共通テスト併用方式に変更 【募集人員】 90名から45名に変更
			共通テスト併用 [個別B方式]	【入試方式】 新規実施 【募集人員】 25名
			共通テスト併用 [個別C方式]	【入試方式】 一般方式から共通テスト併用方式に変更
			共通テスト併用 [個別D方式]	【入試方式】 新規実施 【募集人員】 15名
			共通テスト利用	【入試科目】 英語が必須に変更
	コミュニケーション人間科学	コミュニケーション人間科学	共通テスト併用 [個別]	【入試方式】 新規実施 【募集人員】 34名
			一般 [個別A方式・個別B方式・個別C方式]	【入試方式】 廃止
			全学部	【募集人員】 24名から50名に変更
			共通テスト利用	【入試方式】 新規実施 【募集人員】 12名
	教育人間科学	教育	共通テスト併用 [個別]	【入試方式】 一般方式から共通テスト併用方式に変更
			共通テスト併用 [個別]	【募集人員】 60名から20名に変更
			全学部	【募集人員】 30名から70名に変更
		心理	共通テスト併用 [個別]	【募集人員】 65名から15名に変更
			全学部	【募集人員】 10名から58名に変更
			共通テスト利用	【募集人員】 8名から10名に変更
	地球社会共生	地球社会共生	共通テスト併用 [個別]	【入試方式】 一般方式から共通テスト併用方式に変更 【募集人員】 30名
			一般 [個別A方式・個別B方式]	【入試方式】 廃止
共通テスト利用			【配点】 外国語：250点から200点に変更	
理工		共通テスト併用 [個別B方式]	【入試方式】 一般方式から共通テスト併用方式に変更	
		●学科改組	物理科学科 募集人員105名、数理サイエンス学科 募集人員55名	
	電気電子工	共通テスト利用	【入試科目】 理科の選択科目に「化学」を追加	
	機械創造工	共通テスト併用 [個別B方式]	【募集人員】 21名から20名に変更	
	化学・生命科学	一般 [個別A方式] 共通テスト併用 [個別B方式]	【入試科目】 理科の選択から「物理」を除外 【募集人員】 45名から50名に変更 【募集人員】 25名から20名に変更	
全			【出願要件】 「主体性」「多様性」「協働性」に関する経験の提出を求める。 【入試科目】 独自の英語試験を廃止。英語外部試験を全面的に導入、共通テストの「英語」も可 ※文学部のみ、本学独自の英語試験で受験できる試験日あり 英語外部試験の最低スコアの設定はなし。スコアさえあれば出願可能	
	文以外	個別	【入試方式】 廃止 ※全学部日程の試験日を増加	
立教	文・現代心理・法・経済・経営・社会・観光・コミュニティ福祉・異文化コミュニケーション	共通テスト併用 [英語外部試験利用方式 (全学部日程) ①]	【入試方式】 新規実施 【入試科目】 共通：英語、個：国語+ (日本史or数学)	
		共通テスト併用 [英語外部試験利用方式 (全学部日程) ②]	【入試方式】 新規実施 【入試科目】 共通：英語、個：国語+ (世界史or数学)	
		共通テスト併用 [英語外部試験利用方式 (全学部日程) ③]	【入試方式】 新規実施 【入試科目】 共通：英語、個：国語+ (日本史or世界史or政治・経済)	
		共通テスト併用 [英語外部試験利用方式 (全学部日程) ④]	【入試方式】 新規実施 【入試科目】 共通：英語、個：国語+ (日本史or世界史or地理)	
		共通テスト併用 [英語外部試験利用方式 (全学部日程) ⑤]	【入試方式】 新規実施 【入試科目】 共通：英語、個：国語+ (日本史or世界史)	
		文	一般 [独自試験 (英語)]	【入試方式】 新規実施 【入試科目】 国+ (日本史or世界史) + 英語

表 12 主要私立大学の主な入試変更点 (2021 年度) の続き

大学名	学部学科等	試験方式等	変更内容
立教	理	共通テスト併用 [英語外部試験利用 (全学部日程) ①]	【入試方式】 新規実施 【入試科目】 共通：英語、個：数学+ 理科 (地学を除く)
		共通テスト併用 [英語外部試験利用 (全学部日程) ②]	【入試方式】 新規実施 【入試科目】 共通：英語、個：数学+ 理科 (地学を除く)
法政	グローバル教養	一般 [T日程 (統一日程)]	【入試方式】 廃止
		英語外部試験利用	【英語外部試験の利用】 利用方法に得点換算を追加 対象試験を変更：英検、IELTS、TOEFL iBT
	共通テスト利用 [B方式]	【出願要件】 英語外部試験を追加 対象試験：英検、IELTS、TOEFL iBT 【入試科目】 外国語を除外	
	生命科学	応用植物科学	一般 [A方式 (個別日程)] 【入試科目】 数学、理科が選択から必須に変更
情報科学	コンピューター科学・デジタルメディア	一般 [A方式 (個別日程)] 【試験日程】 同日に行われていたのを別日に変更 ※併願可	
中央	文	一般、一般 [英語外部試験利用]	【入試科目】 歴史・公民の選択から倫理、政治・経済除外 ・一部専攻に選択科目の条件追加 日本史専攻：日本史Bが必須 東洋史学、西洋史学専攻：世界史Bもしくは日本史Bの受験が必須
		英語文学文化除く	【英語外部試験のスコア変更】 TEAP：226点以上→225点以上 TOEIC LR&TOEIC SW：790点以上→1150点以上 ※TOEIC LR&TOEIC SWはSWのスコアを2.5倍する
	英語文学文化	一般 [英語外部試験利用]	【英語外部試験のスコア変更】 TEAP：280点以上→270点以上 TOEIC LR&TOEIC SW：940点以上→1410点以上 ※TOEIC LR&TOEIC SWはSWのスコアを2.5倍する
	総合政策	一般 [英語外部検定換算]	【入試方式】 新規実施 【英語外部試験の活用方法】 出願要件、得点換算
		一般 [英語外部試験利用]	【入試方式】 廃止
	経済	一般 [英語外部試験利用]	【英語外部試験】 対象試験、スコア変更 英検CSEスコア1980点以上→1728点以上 GETC：960点以上→690点以上 TEAP CBT：420点以上→235点以上 TEAP：225点以上→135点以上
		センター併用 (英語選択)	【入試方式】 廃止
	商	共通テスト利用 [前期3教科]	【配点】 国語：150点→200点、外国語：150点→200点、選択科目：200点→100点
	国際情報	国際情報	一般 [英語外部試験利用] 【英語外部試験】 スコア変更 TEAP:260点以上→300点以上
	関西	全	一般選抜 [後期]
文		共通テスト利用 [英語外部試験利用]	【入試方式】 新規実施 【英語外部試験】 利用方法：出願要件、得点加算 対象試験：ケンブリッジ英検、英検、GETC、IELTS、TEAP、TEAP CBT、TOEFL iBT、TOEIC LR&TOEIC SW
社会安全		安全マネジメント	一般選抜 [英語外部試験利用] 【入試方式】 新規実施 【英語外部試験】 利用方法：出願要件 対象試験：ケンブリッジ英検、英検、GETC、IELTS、TEAP、TEAP CBT、TOEFL iBT、TOEIC LR&TOEIC SW
人間健康	人間健康	一般選抜 [英語外部試験利用] 【入試方式】 新規実施 【英語外部試験】 利用方法：出願要件 対象試験：ケンブリッジ英検、英検、GETC、IELTS、TEAP、TEAP CBT、TOEFL iBT、TOEIC LR&TOEIC SW	
関西学院	全	探求 (課題研究) 評価型入試	【入試方式】 新規実施
	総合政策	グローバル入試	【出願要件】 英語資格・検定試験 (4技能) のスコア提出を求める
	法	一般選抜 [3科目 (文系型)]	【入試方式】 全学日程の両日で受験可能
	理工	●学部改組	理学部、工学部、生命環境学部、建築学部

※ 同志社大、立命館大は大きな変更点なし

出典：各大学ホームページ
※新型コロナウイルス感染拡大防止策として全国の学校が休校になっていることに伴い、今後、総合型選抜の出願スケジュール変更など、入試に関する変更が生じる可能性があるため、注意したい。

「東進進学情報」では、「特集」で取り扱ってほしいテーマなどのご要望や、ご意見・ご感想を募集しております。ご応募は、コンテンツ本部宛までお願い致します。

東進 進学情報 Vol.371 2020/05/15 発行
非売品・不許複製・禁無断転載